

地域が守る 安心して暮らせる安全なまち

田原市では、市内すべての地区に自主防災会が組織され、それぞれの地域特性に合った防災活動に取り組んでいます。ここでは、平成23年度の『自主防災活動重点支援地区』として、大草校区と泉校区が取り組んだ活動をご紹介します。▼防災対策課 ☎23局3548

自主防災会活動【事例紹介①】

大草校区

【人口・世帯】…日24年3月末現在
1320人・370世帯

【概要】

市の南東部に位置する農耕地帯で、南は太平洋に面しています。2つの自治会が1つの自主防災会として活動していますが、訓練内容や参加者の固定化が見られます。

【取り組みテーマ】

「実践的で楽しくできる防災活動！」

「気軽に参加できる防災活動！」

【主な取り組み内容】

- 1 防災マップの作成
- 2 家具固定講習会
- 3 木造住宅無料耐震診断説明会
- 4 非常用持出袋の括購入など

【取り組み成果】

消火訓練や土のう作りなど、今までできなかった活動を行うことができ、校区住民への意識啓発ができました。

【今後の目標】

気軽に参加できる訓練や講習会を開催していくとともに、引き続き木造住宅耐震診断の普及・啓発を行い、防災意識の高揚を図ります。



● 消火訓練（避難訓練）



● 家具固定講習会



● 土のう作り（避難訓練）

自主防災会活動【事例紹介②】

泉校区

【人口・世帯】…日24年3月末現在
3944人・1221世帯

【概要】

市の北中部に位置し、北に三河湾を望み、三方に緑豊かな山々が連なっています。低地が多く、8つの自主防災会では、津波からの避難が最重要課題となっています。

【取り組みテーマ】

「津波避難の徹底！課題に対する効果的な防災対策！」

「効果的な防災対策！」

【主な取り組み内容】

- 1 津波避難マップの作成
- 2 津波避難訓練
- 3 防災台帳・防災マップの更新
- 4 住宅用火災警報器の設置
- 5 家具固定講習会など

【取り組み成果】

地区ごとに津波の一時避難場所を決め、避難訓練を実施することで、校区住民への避難の周知徹底ができました。

【今後の目標】

津波避難訓練を今後も継続的に行うとともに、さまざまな課題に対して効果的な対策を、住民が一丸となって行います。



● 津波避難マップ作成



● 避難訓練



● 家具固定講習会